



THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB



希望の鐘 *The Bell of Hope*

The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan



川越ワイズメンズクラブ会報

No. 28-05

11月号

発行 2025年 11月 15日

Chartered 1998

- 川越クラブ会長: 利根川 太郎 主題「ワイズメンの原点に立ち返ろう。」
～楽しく交流・川越YMCAの支援・国際交流の充実～
- 副会長 松川 厚子 国際会長: Edward Ong エドワード・オン (シンガポール)
会計 吉田 公代 主題 “Faith, Love, Action” 『信念、愛、行動』
スローガン “Together Stronger” 『共に、より強く』
- 書記 吉野 勝三郎 アジア太平洋地域会長: 田上 正(熊本むさしクラブ)
主題 “Act now with faith and love!” 『信念と愛を持って行動しよう!』
スローガン “Contribute to local society together with YMCA and Youth!”
『YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう!』
- 東日本区理事: 山下 真 (十勝クラブ)
主題 『ワイズのらしさ再発見』 “Rediscovering Y's Uniqueness”
スローガン Change !

11月の聖句

テモテへの手紙 I 6章 11節

正義、敬虔、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めなさい。

Pursue righteousness, godliness, faith, love,
patience, gentleness

(Paul's First Letter to Timothy 6:11)

(10月25日)

出席者 10名 うち、クラブメンバー出席率 80%

川越クラブ 9月例会報告

会長 利根川太郎

日時: 2025年 10月 25日(土) 14:00～16:00

会場: 川越 YMCA

11月初旬になり、朝晩の気温が急に下がりました。あちらこちらから紅葉の便りも届き始めて、急に秋が深まったように感じます。

紅葉狩りにも行きたいと思いながら、毎日の忙しさにかまけてなかなか出かけられません。埼玉でも熊のニュースが流れていて、少し怖いこともあります。

10月の例会は、オアナ・里村さんにルーマニアにつ

いてお話を伺いました。詳しくは、別掲の新井壽代さんのご報告をご覧ください。

では、10月例会の報告をいたします。

- アースディ川越 in 昭和の街のキックオフ準備会が9月30日に実施され、山崎さんが参加していただき、その報告がありました。
- アースディ川越の開催日は、2026年3月7日(土)です。当初の8日(日)は、開催場所の予約が取れなかったため、7日になりました。
- テーマは「2050年の未来を造る」1月に企画内容を決定するそうです。
- 川越ワイズメンズクラブは、「いも菓子販売」「チャリティ川越いも宣伝」「コーヒー販売」で参加予定です。
- 「埼玉・所沢・川越3クラブと埼玉YMCAとの懇談会」が実施される予定です。
- 2026年1月17日(土)17:00～所沢の子育て子育てセンター
- 有志参加による食事付き懇談会の予定です。
- 1月24日(土)の川越ワイズメンズクラブ例会については以下のように変更しました。
- 生川さんのスリランカBF訪問の報告会を予定します。
- 予定していた、滑川さん(幼児の英語教育)の卓話は、5月23日(土)として、3クラブ合同例会としたいと、担当の吉野さんからお話がありました。
- チャリティラン(11月3日(月・祝))は、経費支援として2チームの参加支援をしました。景品支援

として、「川越いも混合 5kg」2 箱、「川越いも菓子詰め合わせセット」3 セット、「Y の森コーヒー」3 袋を提供しました。

5. YMCA フェスティバル(11 月 23 日(日))には、ラッフル景品としてお菓子セット 10 セットを提供します。
6. バス旅行(2026 年 3 月 28(土))は、群馬サファリパークとこんにゃくパークで進めて参ります。

次回例会は、11 月 23 日(日)の YMCA フェスティバル時間内に実施します。場所は所沢センター内で考えています。

YMCA フェスティバルは 10:30 集合をお願いします。



「ルーマニアの今を知る」 オアナ・里村さん(上記前列中央)による卓話

新井壽代

川越ワイズメンズクラブ10月例会において、ルーマニアから来日、埼玉県内にお住まいのオアナ里村さんをお招きして、お話を伺いました。

さいたま市教育委員会およびルーマニア大使館でお仕事をいらっしゃいます。ご自身の祖国愛と広い観点をもとに、多くの画像と共に丁寧にお話頂きました。

* 主要都市と世界遺産

首都ブカレストをはじめ、ブラショフ(バルカンの小パリと呼ばれる)、シビウ(中世ヨーロッパの雰囲気を残す美しい街並み)など。その他世界遺産のギショアラ旧市街、マラムレシュ地方の木造教会、トランシルヴァニア地方の要塞ピエルタンなどなど、世界遺産は国内に 29ヶ所にも及びます。

* 民族衣装の魅力

オアナさんご自身が、おばあ様から受け継いだ素晴らしい衣装を身につけていらっしゃいました。しっかりとした綿素材で、夏涼しく、冬暖かいそうです。その刺繍は美しく見事な技術で、伝統的な模様を丁寧に

表現されています。

トップス、スカート、エプロンその全てが手作りで、おばあ様が作って着ていた時から100年近くの時を重ねているとのことでした。

伝統と共に、家族の愛と歴史を受け継いでいるように感じました。

* ルーマニア料理

代表的なサルマーレ(ルーマニア風ロールキャベツ)は特別なスパイスで味付けをし、その美味しさは独特。こちらに使うスパイスをオアナさんはルーマニアから取り寄せているそうです。

画像を見ているだけでも良い香りがしてきました。他に、チョルパ(野菜の煮込みスープ)、ミティティ(ひき肉団子)など、いろいろな素材のお話がありました。

* スポーツ国技「オイナ Oina」

これがとても興味深い! 国技で、その歴史は700年にも及びます。重いバット(一本の木から切り出し制作したもの)と競技用のボール二個をわざわざお持ちくださいました。

ルールは野球とよく似ていて、野球の原型と思われます。国内にはプロのリーグもあり、子どもから大人まで幅広い人気があります。

* ルーマニア出身の有名人

ナタリー・ポートマン(女優)、ナディア・コマネチ(体操選手)をご紹介します。日本人のほとんどが知っていると思います。私としては若き頃から好きなアーティスト、彫刻家コンスタンティン・ブランクーシ(1876~1957 ブカレスト国立美術学校卒業後パリで活躍、モダンアート彫刻のフロンティア)が、今でも国内でも高く評価されていることを知り、嬉しく思いました。

最後にオアナさんから、留学のお勧めがありました。2007 年 EU 連合加盟、2024 年シェンゲン協定加盟。そこでルーマニアに留学をすると、EU 連合の国々に行き来して、学べる大きな機会を得られるのです。

開かれた国ルーマニアは次世代にとっても魅力的な国と思えます。

短い時間ではありましたが、オアナさんのお話は祖国愛に溢れ、内容也多岐にわたりました。

訪れてみたい国の一つとなりました。

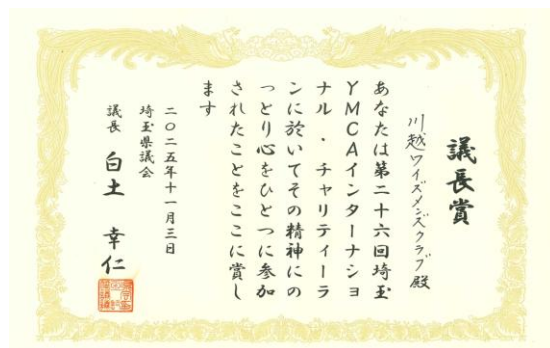
チャリティーラン報告

吉野 勝三郎

第 26 回埼玉 YMCA インターナショナル・チャリティーラン2025が 11 月 3 日(月)所沢航空記念公園で天気にも恵まれ、成功裏に開催されました。

川越クラブからの参加者は、利根川太郎・恵子夫妻とその友人、吉田 公代・甥子さん、山本剛史郎さんご一家、吉野 勝三郎他でした。川越センター所長の河合今日子さんは、旧埼玉センターから引き継いだ子供たちのチームを率いての参加となりました。また、私が勧誘して、最近埼

玉YMCAの協力会員のなられた、ウルハス・アチャリア（インド人）さんも、初めて参加され、チャリティー・ウォークでコースを4周されました。ラッキーなことに、彼は、最後のラッフル抽選会で、川越クラブが商品として提供した、川越イモを選び当てました。又、川越クラブは埼玉県議会議長賞をいただきました。



埼玉県議会議長賞です。



全体写真



川越クラブ特別賞



今年も小野塚 勝俊所沢市長が来賓として来られ、最初のグループランの出発をピストル音で合図されました。



今年の収益 787,000 円を大会実行委員長から受け取りました。

リレー随想

吉野 勝三郎

「私たち埼玉 YMCA は、イエス・キリストによって示される愛と奉仕の教えに基づき、すべての人々の全人的な成長を願い、地域に根ざし、以下の働きを行います。」の前文で始まる、埼玉 YMCA の使命は、2003 年 11 月 28 日使命作成検討委員会によって制定されました。

今回この原稿を書くに当たり、この使命作成の時のことを思い出しました。山本剛史郎さんが委員だったと記憶していますが、経過報告の際に、**YMCA は生涯に亘って関わることができる団体である**、というところに特徴があると言われました。今でもこの言葉を時々思い出します。特に、最近、客員として熱心に例会に出席される 96 歳の五十嵐政二ワイズを見ていて、生涯に亘って関わる YMCA の存在を改めて強く認識するようになりました。

私は、1996 年にアメリカ駐在を終えて日本に帰任した時に与えられた働き場所が川越だったことから、川越ワイズメンズクラブの設立に関わりました。当時のメンバーで現在も残っているのは、利根川恵子さん・山崎純子さん・山本剛史郎さん・松川厚子さんと私の 5 人だけになってしまいましたが、私はこれからも健康が許す限り、生涯に亘って、YMCA とワイズメンズクラブに関わっていきたいと思います。

全く青天の霹靂ですが、今年 2 月 1 日から埼玉 YMCA の理事長という職務を与えられました。全く浅学菲才の者ですが、一緒に理事長を務める、太田聡総主事が選ばれた聖書のことば、「主は、私の恵はあなたに十分である。力は弱さの中で完全に表れるのだ」と言われました。だから、キリストの力が私に宿るように、むしろ、大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。」コリントの信徒への手紙 12 章 9～10 節 を忘れずに日々の務めを果たしているつもりです。引き続き、川越ワイズの皆さん、全国のワイズの皆さんとの交わりをよろしくお願いします。

国際の舞台から

利根川恵子

熊本宣言

ワイズメンズクラブ国際協会は、常に環境問題への取り組みを全世界で行っていますが、去る8月に熊本で開催されたワイズメンズクラブ国際協会国際議会では、次のような「熊本宣言」が採択されました。

「熊本宣言」

ワイズメンズクラブ国際協会は、自らの環境への影響を減

らし、地球規模での持続可能性に意義ある貢献をすることに取り組んでいます。私たちの Strategy 2032 ビジョンと国連の持続可能な開発目標(SDGs)に沿って、環境意識を高め、革新的かつ責任ある取り組みを採用し、再生可能エネルギー、効果的な廃棄物管理、持続可能な環境イニシアチブを支援することで、より清潔で緑豊かな世界の実現を目指します。 2025年8月

気候変動で、水害や異常気象が世界中で多発しています。微力ですが、私たちひとり一人が地球にやさしい生き方をすると同時に、個人ではできないことをクラブとして、部としてあるいは区として行わなければならないと強く感じます。



熊本宣言を採択した国際議会議員が一堂に会して
(2025年7月31日熊本 YMCA にて)

YMCA 報告

木下 遥七

2025 年 11 月 3 日(月・祝)所沢航空記念公園にて「インターナショナル・チャリティーラン」が開催されました。YMCA 川越センターは、トースターグループ(スポンサー:川越ワイズメンズクラブ)として参加しました。毎年楽しみにしているメンバーも多く、当日は笑顔と元気にあふれた雰囲気でした。リーダーとグループの仲間で声を掛け合い、一人ひとりが最後まで一生懸命走り抜き、応援にも熱が入りました。いつもとは違う真剣な表情で走る姿も印象的でした。

また、ラッフル抽選会も大いに盛り上がり、会場は終始活気に包まれていました。表彰式では、普段は表彰される機会が少ない子どもたちも、賞状を受け取ると誇らしげな表情を見せ、自分が認められる貴重な経験となったようです。

今回のチャリティーランでは、895,641 円(11 月 11 日(火)時点)の支援金をお預かりしました。お預かりした支援金は、子どもたちのためのプログラムにて大切に活用させていただきます。

ご協力くださった企業・関係団体・個人の皆さま、温かいご支援をありがとうございました。



編集後記

11 月 3 日は、毎年良い天気が与えられ、楽しいチャリティーランが開催されています。私が参加するようになって、雨になった記憶がありません。今年も、多くの参加者が、楽しい一日を過ごすことができました。

11 月 23 日は YMCA フェスティバルが所沢センターで開催されます。どうぞ友人・知人を誘って参加して下さい。



過日、高校の美術の教師を務めあげて停年となり、今は少し時間に余裕がある旧知の男性に所沢センターを見てもらいました。彼は、油絵の分野で、近年、連続して日展に入選しています。彼は、和光市在住で、所沢センターで油絵に興味のある人がいれば、絵画教室の講師を引き受けてくれる可能性があります。興味のある方はぜひ連絡下さい。(KY)